

# 今後の全国特別支援学校長会 研究大会のあり方について

平成26年6月24日

全国特別支援学校長会事務局

# 1 現時点での課題

- 全特長人事決定が6月の大会であること  
初日に各障害種別の総会、その後全特長の総会  
実質的な会務を遂行していくためには、なるべく早い  
時期に当該年度の会長下で運営していくことが必要
- 全特長研究大会の構成について  
受付や内容の複雑・重複化、日程の硬直化  
大会を初日から全特長として機能させ、構成をシンプルにしてより充実した研究大会にしていく

## 2 各種別での検討結果

- 各種別の評議員会等で規約改正の検討を行った。今回の総会でも議論が進んだ。
- 結果は多くの種別でご理解をいただいた。  
→ 具体的な改正を進行させている
- 各種別の動きと合わせて全特長でも規約改正を目指していく。

### 3 全特長規約改定の方針案

- 各障害種別の規約を改定

5月に行われる各種別の全国評議委員会等で各種別の人事等について承認、決定を行う。

→ 全特長の副会長人事等が決定

- 全特長の規約を改定

5月の全特長理事・評議員合同会議で全特長人事等について承認、決定を行う。 規約8条他

→ 全特長の組織について決定

- 6月の全特長研究大会

初日から全特長総会を開催し、組織体制を確認する。

## 4 規約改定の進め方

- 本日の総会での確認がスタートとなる
- 事務局会での検討を中心としていく
- 種別の進行状況を参考にする
- 全国理事・評議員合同会議で協議していく

## 5 次年度大会の概要案、イメージ

- 平成27年 6月23日(火)からの3日間
- 場所: 現会場  
国立オリンピック記念青少年総合センター
- 研究テーマ  
現在検討中

## 6 大会の構成案

- 初日から全特長として機能する
- 障害種別の研究についてもこれまで同様に充実させる
- 併置校の学校経営等の課題を研究できる構成とする

# 7 大会の内容案

- 大会研究テーマ
  - 検討経過、方法について後述
- 大会構成、内容
  - 概要案のイメージで
- 関係機関との連携内容、方法
  - 文科省や特総研、関連団体等



## 8 研究テーマの設定方法

- 全特長ビジョンより
- 関係機関（文部科学省、特総研）との連携、協議
- 3年間の研究実績の評価
- 基本問題検討委員会、事務局会を中心に、全国理事・評議員合同会議での議論

## 9 今後の大会内容検討方法

- 今大会の評価の活用
- 基本問題検討委員会の提言の活用
- 事務局会議での原案検討の継続
- 全国理事・評議委員会での議論、機能の活用  
→ 規約13条

# 10 検討スケジュール1

- 26年 6月 : 研究大会総会  
検討経過について報告  
今後の方向性等について報告、協議
- 26年 7月～9月 : 基本問題検討委員会  
事務局会  
方向性、内容等について協議

## 10 検討スケジュール2

- 26年 10月 : 全国理事・評議員合同会議  
大会研究テーマ、内容、規約等について協議
- 26年 11月～12月 : 基本問題検討委員会  
事務局会  
上記について継続協議
- 27年 1月 : 全国理事・評議員合同会議  
上記について協議、決定することを確認